

ホース・チューブ製品事業

[ニッタ・ムアー事業部]

よりアグレッシブな営業部隊に変革し、
グローバル市場、
カーボンフリー社会に挑む。

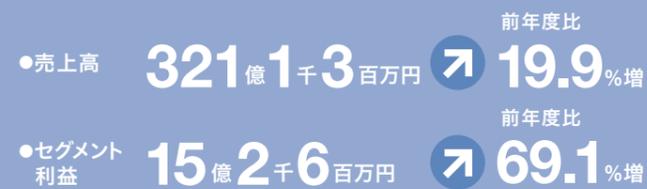
執行役員
ニッタ・ムアー事業部長
いずみ あつし
泉 敦



主なSDGs目標



2021年度のセグメント業績



2021年度の振り返り

半導体製造装置向け製品や建設機械向け製品等の一般産業事業は、国内、海外ともに堅調で、売上ベースで約2割アップ、営業利益は約1.5倍の伸びを示しました。一方、自動車業界向け製品は、前年度に引き続きCOVID-19による物流やサプライチェーンの乱れの影響を受け、減収減益となり、自動車業界向け事業としては単年で赤字という結果になりました。ホース・チューブ製品事業全体の業績としては、自動車業界向け事業のマイナスを一般産業事業がカバーしたことで、売上高、セグメント利益ともに予算を達成しています。

SWOT分析

競争優位性 顧客や社会のニーズに迅速丁寧に応え、最適な製品・サービスを提供。グローバルネットワークを活かしたダイナミックな展開が可能。	弱み・課題 現地資本の顧客を獲得するためにグローバル競争に勝る価格競争力とグローバルネットワークをさらに向上させる。
機会 主力市場地域へグローバルネットワークを活用した展開が可能。	脅威 グローバル展開する中でさまざまな問題、さまざまな要求に対してこれまで以上にスピードアップし最適な解決を見出し対処していく必要がある。

2030年へ向けた事業戦略概要

- 1. 更なるグローバル化**
従来の市場、新規市場も含めて日系顧客中心のBusinessから外資系顧客とのBusinessへSHIFTします。
- 2. 新製品開発、新規市場開拓の推進**
EV(電気自動車)／FCV(燃料電池自動車)やデータセンター等のサーマルマネージメント分野向けの冷却用配管等、脱炭素市場向け製品の開発を推進します。
- 3. 半導体市場(米国・中国)の営業強化**
全世界的な半導体不足となる中、米国や中国等のより大きな市場の開拓を目指し、さらに営業活動の活性化を図ります。

主力製品



油圧用樹脂ホース製品

チューブ製品

乗用車用燃料
チューブ製品

エアブレーキ用
チューブ製品

メカトロ製品
(オートマチックツールチェンジャー)

新規獲得のために営業体制を改革し、 市場の探索と深耕を推進

これまで営業部門は外勤、内勤を各々のエリアで管理していましたが今回、組織改編を実施し外勤、内勤業務を別部門とし、外勤部門はこれまで以上に営業活動に注力できるようにしました。また既存の専門分野だけにとられず、あらゆる市場を横断する営業活動を展開できるようにするために一般産業事業と自動車事業の二つに分かれていた営業も一本化しました。積極的にあらゆる情報を吸

い上げ“新市場の開拓”“新製品の開発”をすることができる営業スタイルである「開発営業」ができる人材を育てていき、既存製品を他の産業用製品に横展開していくことに留まらず、さらに新製品の開発や新市場の開拓を目指していきます。ホース・チューブ製品事業全体を力強く未来に牽引していくための新たな営業部隊として位置づけています。

サステナビリティな社会ニーズに対応する カーボンフリー対策向け製品の開発

自動車業界においては、ガソリン車からEV・FCVへの急速な転換が進む中、必要となる自動車部品やインフラ設備が大きく変化しています。そのためEV・FCV用はもとより充電施設用の配管等、特にサーマルマネージメントの製品群を開発し、提案力を強化しています。また既存部門を超えた営業活動により、データセンター等の冷却装置用の

配管等、新たな市場へのアプローチも進めています。さらに、半導体製造装置や調業機器等日々進化する設備に対応するホース・チューブの開発を推進する等、半導体、医療、自動車、ICT、建設機械等、大きな成長や変化が予測される産業分野を中心に、各市場を横断的にアプローチし、新たな技術や製品の創出を目指して参ります。

TOPICS

中長期経営計画「SHIFT2030」達成に向けた事業戦略

グローバル市場において、社員の個性を生かして一人ひとりが
大胆な発想と変化を恐れない行動力を持って成功するまで挑み続ける。

【今後の成長戦略】

今年度より組織改編や人事異動を行い、中国・北米・中南米・アセアン等へのグローバル展開を継続かつさらに強化させています。これまでに取り組んできた知見や経験、情報を礎(いしずえ)に、その活動をさらにスピードアップさせ、より精度高く推進しています。「変化を恐れず、変化を楽しむ一年に」と、社内に活発な意見や情報が行き交う風通しの良い環境づくりを目指し、社員一人ひとりがダイナミックに動き、未来に向けてチャレンジできる、そんな柔軟かつ力強い組織として活動をスタートしています。

2022年度の事業部目標数値

